

平成 25 年度広島グッドチャレンジ賞表彰式の開催結果について（報告）

～社会貢献活動に積極的に取り組んだ生徒、グループ、生徒会を表彰～

1 趣 旨 社会貢献の心をはぐくむボランティア活動等への生徒の積極的な参加を促し、活動への意欲を喚起するため、善いことを自ら進んで実践した生徒個人、グループ、生徒会を表彰する。

2 日 時 平成 26 年 1 月 8 日（水） 15 時 30 分～16 時 45 分

3 場 所 広島市役所本庁舎 2 階 講堂

4 内 容 ① 表彰状授与  
② 教育長あいさつ  
③ 受賞者代表の言葉



広島グッドチャレンジ賞表彰式

5 対 象 広島市立中学校生徒個人、広島市立中学校生徒からなるグループ及び生徒会執行部

6 受賞者等の推移

年 度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25 年度
個人の部	6	17	6	14	19	15	14	25
グループの部	4	4	1	22	27	33	44	62
生徒会の部	17	10	6	18	19	22	31	34
部合計	27	31	13	54	65	70	89	121
学校数	21	15	10	28	30	31	39	49

※ 名称：平成 18 年度～「さわやかボランティア賞」・平成 23 年度～「広島グッドチャレンジ賞」

7 活動例



「環ッハッハ in よしじま」運営補助



「東浄学区クリーン作戦」清掃活動



「ルソン島支援プロジェクト」  
支援活動

【個人の部】 学校内外のボランティア活動に 100 回以上参加し、進んで活動した。

毎日、正門前の坂道や歩道の清掃を続けた。

【グループの部】 公民館祭りなど、地域の行事の企画・運営などに携わり、積極的に活動した。

【生徒会の部】 アルミ缶やペットボトルのキャップなどを定期的に回収して、学区内の福祉施設への車いす寄付や東日本大震災の被災地への支援を行っている。

## 《参考》 受賞者代表の言葉

### 個人の部

私がボランティア活動に初めて参加したのは、小学生の頃でした。母に連れられ地域のゴミ拾いに参加しました。それがきっかけで、地域で清掃活動があるときは必ず参加しています。中学生になってもそれは変わっていません。

中学二年になり、生徒会のボランティア局員として、ボランティアをコーディネートする役職に就きました。三年生にもなると執行部としての活動や、受験勉強で毎日が忙しくなりましたが、変わらずボランティア活動は続けています。

私は、ボランティアが好きです。活動中がとても楽しいです。そして何より、自分の町や学校が綺麗になっていくことがうれしいです。しかも、地域の方や先生方から「いつもありがとう」「お疲れ様」と声をかけていただきます。それは私にとって一番のご褒美です。しかし、だれからも見ていただけないときもあります。それでも活動を通して得た達成感は、私にとってかけがえのないものになっています。人のためにちょっとした何かができることが、少しだけ自分の自信になっています。

この度は、このような場を設けてくださり、本当にありがとうございます。これからも私は、勉強とともにボランティア活動も頑張り、その仲間を増やしていきたいと思っています。

広島市立落合中学校 森本 沙彩

### グループの部

本日はこのような賞をいただき、本当にありがとうございます。

僕たちは、メンバーのチームワークを大切に活動しています。僕たちの学校生活は、各学級のボックスに新聞を配ることから始まり、今の時期は、正門前の落ち葉掃きが活動の中心です。どんどんきれいになっていくので達成感のある活動です。

僕自身、ボランティア活動を通じていろいろな人に会い、さまざまな考え方に触れることで、自分が変わったと感じています。「こんな僕でも人の役に立っている」と実感でき、自分に自信がもてるようになり、小さなことであまり悩まなくなりました。僕の仲間は、自分中心的な考え方から、チームで働くことの大切さを強く感じるようになった、と言っています。

校外では、公民館まっりの会場準備や出し物のお手伝い、地域清掃に参加しています。一緒に活動させていただく地域の方は、お元気で温かい方が多く、親切に仕事の手順を教えてください、楽しいお話をしてくださるので、宇品という地域がますます好きになりました。

これからも、自分たちにできる活動を見つけ、進んで行い、少しでも宇品中学校や地域に貢献するとともに、自分自身も成長していきたいと思っています。

ありがとうございました。

広島市立宇品中学校ボランティアチーム 松本 真城

### 生徒会の部

本日は、私たち大塚中学校生徒会の活動を表彰していただき、ありがとうございます。

私たちは、これまで多くのボランティア活動を行ってきました。

本年度、特に力を入れているのが「アルミ缶回収ボランティア」、略して「アルボラ」です。

アルボラは毎月2回行っており「車いす寄付」を目指して、取り組んできました。アルミ缶は、多いときには4000個を超えます。一度につぶせないのので、アルミ缶をつぶすボランティア「つぶボラ」を募集しました。そして、11月には600kgのアルミ缶を回収し、念願の車いすを1台購入し、地元の老人ホームに寄付しました。3年間の生徒全員の力が形になり、達成感のある活動となりました。

また、美化活動にも積極的に取り組んでいます。その一つが、「早朝清掃活動」です。普段手が回らない学校周辺をきれいにし、地域の美化に貢献することを目的として、5月から行っています。毎月2回、毎回100人を超える参加者があり、一生懸命、掃除に励んでいます。今年は、1年生から3年生までの学級を縦割りにし、3年生がリーダーとなって清掃を行うなど、異学年のグループで行いました。

その他にも、文房具を回収し、福祉施設などへの提供を行う「文ボラ」、ボランティアを広報するためのポスターを書く「ポスポラ」など、誰でも参加できるボランティアがたくさんあります。

このようなボランティア活動は、生徒全員が中学生でもできる社会貢献を身近に感じ、社会の一員としての自覚を持つことができる機会にもなっています。また、車いすを贈ることができたことで、人を思いやる気持ちと手を差し伸べる勇気を持ってました。このように、大塚中学校生徒会は、目的のある活動に取り組み、執行部だけでなく、生徒全員でつくりあげる生徒会です。

これからも、1つ1つの取組を工夫し、生徒が参加しやすい活動を実行できるよう、全力をそそぎたいと思います。

本日は、本当にありがとうございました。

広島市立大塚中学校生徒会 水野 亜美